

伊豆の国市決算状況

市議会9月定例会で、伊豆の国市の令和2年度決算が承認されました。
 決算とは、皆さんの税金や国・県からの補助金などが市にどのくらい入り、どのように使われたかという『市の家計簿』のことです。昨年度1年間の、市の家計のやりくりをお知らせします。

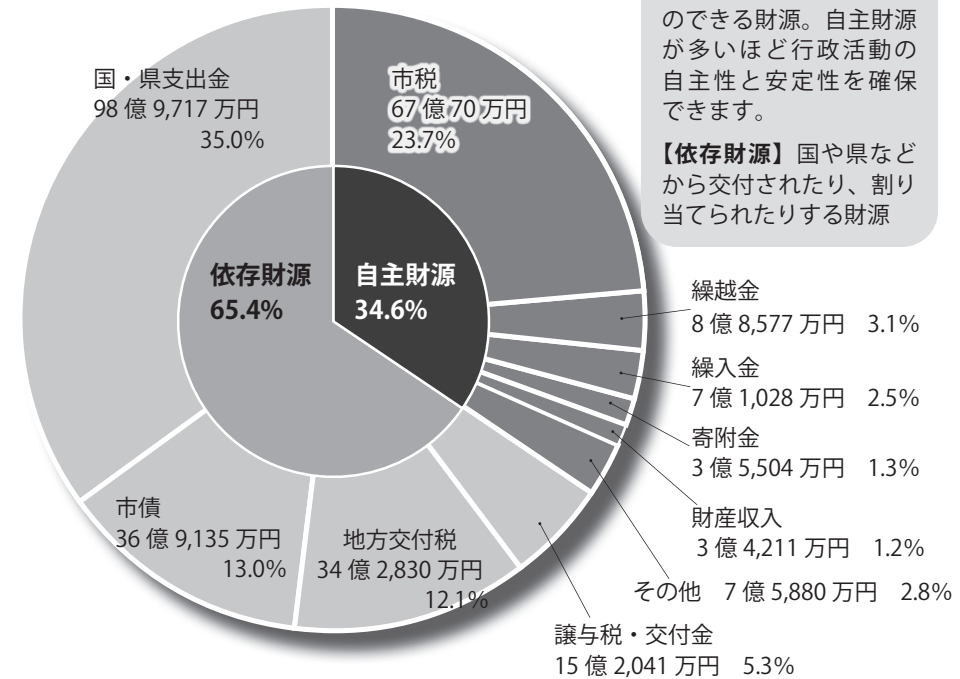
財務課
 ☎ 055-948-1414

歳入 282億8,993万円

591,914円/市民一人当たり

令和2年度は前年度に比べ、約37億911万円の増額となりました。

- ・新型コロナウイルス感染症などに対する施策により「国・県支出金」が60億140万円の増
- ・前年度は市債を活用した基金の新設を実施したため、「市債」が15億1,698万円の減



【自主財源】市税など、市が自主的に得ることのできる財源。自主財源が多いほど行政活動の自主性と安定性を確保できます。

【依存財源】国や県などから交付されたり、割り当てられたりする財源

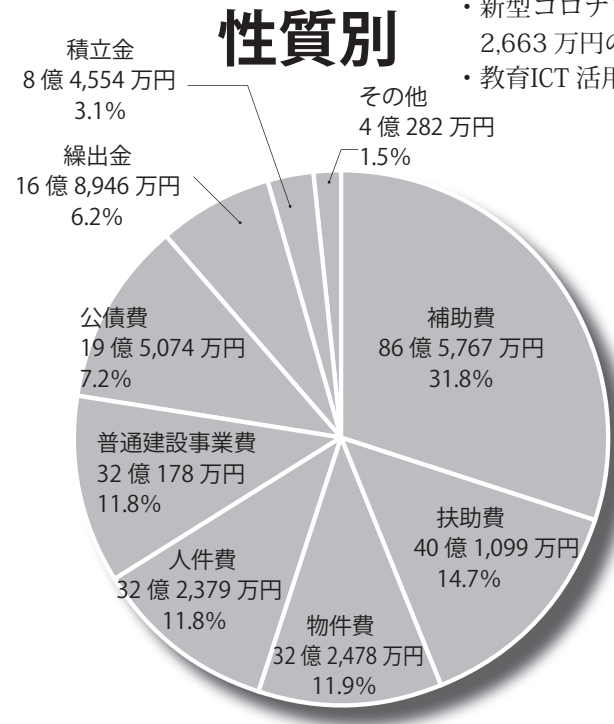
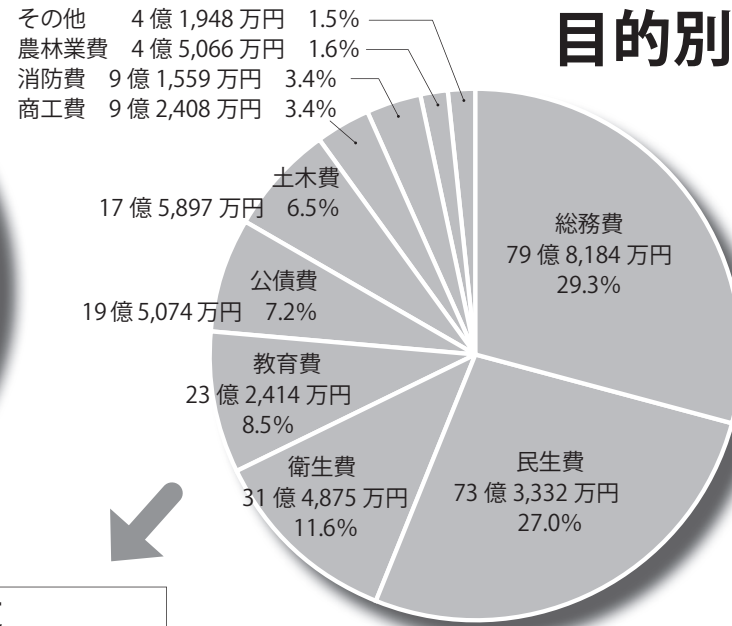
市民税	28億4,462万円	固定資産税	33億3,308万円	軽自動車税	1億5,213万円
入湯税	4,473万円	市たばこ税	3億2,614万円		

歳出 272億757万円

569,267円/市民一人当たり

令和2年度は前年度に比べ、約35億1,252万円の増額となりました。

- 歳出を目的別に着目すると
- ・特別定額給付金事業などにより「総務費」が21億8,453万円の増
 - ・新型コロナウイルス感染症に伴う事業支援などにより「商工費」が4億2,663万円の増
 - ・教育ICT活用に伴う端末購入などにより「教育費」が2億2,936万円の増



目的ごとの主な使い道

※市民一人当たりの換算額 合計 569,267円

衛生費 65,882円 保健衛生、ごみ処理など	公債費 40,815円 借入金の返済など	教育費 48,628円 教育施設整備、スポーツ振興など	総務費 167,005円 江間工業用地整備、地域づくり推進など	民生費 153,436円 子育て支援、高齢者福祉など
その他 8,777円 議会費、労働費、災害復旧費など	農林業費 9,429円 農業・林業の支援、振興など	商工費 19,335円 商工業支援、観光振興など	消防費 19,157円 消防、防災など	土木費 36,803円 道路や公園の整備など

寄附金の使い道

※目的基金に積み立てた額は、次年度以降、用途に見合った事業の財源とします。

用途の希望	寄附金額	件数	内容
市政運営全般	14,340円	5件	ふるさと応援基金に積み立てて、今後活用
新型コロナウイルス感染症対策	1,764,100円	9件	小中学校、放課後児童教室などの感染症対策の消耗品、備品などの購入
葦山反射炉保全	2,352,249円	3件	葦山反射炉保全基金に積み立てて、今後活用
教育振興	2,500,000円	5件	教育振興基金に積み立てて、今後活用
環境保全対策	197,141円	1件	環境基金に積み立てて、今後活用
福祉振興	50,000円	1件	福祉対策基金に積み立てて、今後活用



特別会計

特定の事業の歳入歳出を処理するために設置される会計

会計区分	歳入	歳出
国民健康保険	57億9,324万円	57億4,543万円
後期高齢者医療	6億2,663万円	6億2,531万円
介護保険	43億6,536万円	42億6,508万円
楠木及び天野揚水場管理	1,623万円	1,325万円

公営企業会計

地方公営企業法の適用を受け、利用者からの料金などによって公共の利益を目的に経営する事業会計

会計区分	収入	支出
上水道事業 収益的	7億5,660万円	6億7,239万円
上水道事業 資本的	671万円	4億35万円
下水道事業 収益的	14億7,179万円	14億1,974万円
下水道事業 資本的	3億8,802万円	5億9,816万円